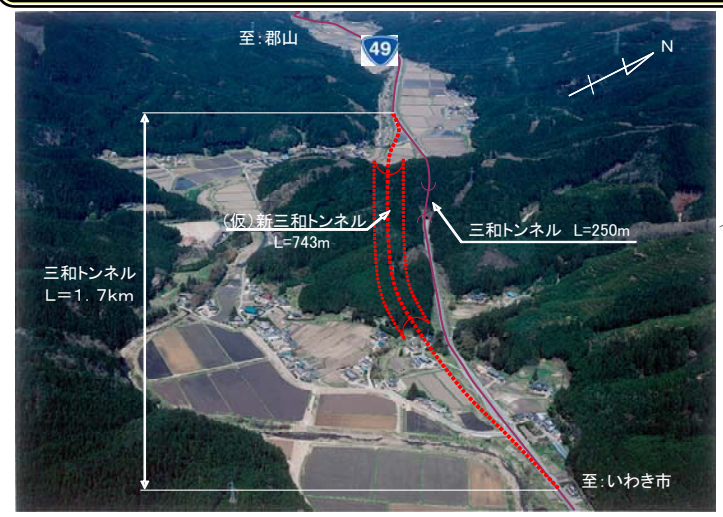
重点戦略2. 交流・連携機能の強化による 世界に開かれた地域の実現

国際交流・連携強化

[福島県(いわき市)](直轄)国道49号　三和(みわ)トンネル(H16～H22(全線完成2車線供用))

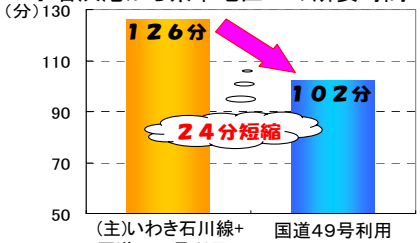
・国際物流基幹ネットワーク拡充のため、主要幹線道路の機能強化を図り、移動時間が短縮されます。
・H22年度は、全線完成2車線供用に向けて、舗装工事等を実施します。



▲三和トンネル(いわき市側から郡山側を望む)



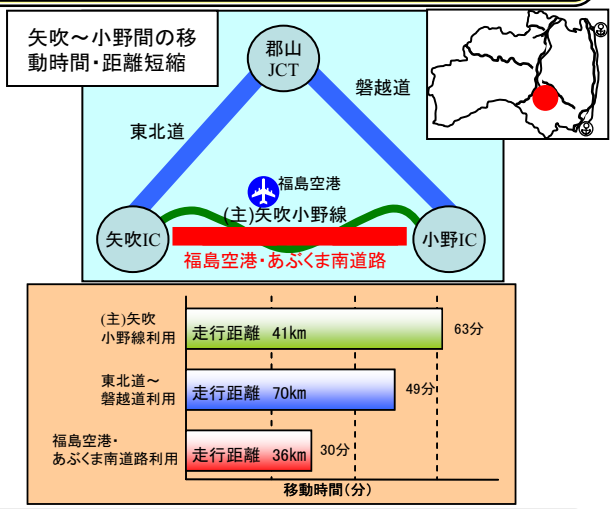
▼小名浜港から県中地区への所要時間の変化



[福島県(西白河郡(にしらかわぐん)矢吹町(やぶきまち)～田村郡(たむらぐん)小野町(おのまち))](補助・地域活力基盤創造交付金)
(主)矢吹小野線(やぶきおのせん)　福島空港(ふくしまくうこう)・あぶくま南道路(みなみどうろ)(H6～H22(全線2車線供用))

・福島空港の活用を促進し地域産業・交流・連携を支える基盤として、東北自動車道、磐越自動車道と共に高速交通ネットワークを形成する道路を整備し、移動時間・距離を短縮します。
・H22年度は、全線2車線供用に向けて、改良、舗装工事等を実施します。





※地域活力基盤創造交付金(平成21年度創設)
●従来までの特定財源制度を前提とした地方道路整備臨時交付金に代わるものとして、**地域の活力の基盤の創造に資するよう、道路を中心に関連ある他のインフラ整備やソフト事業も対象とした新たな交付金制度**
●対象事業(A事業を基本にB事業やC事業を組み合わせて実施することが可能)
A. 地方道路整備事業
(狭い道路の整備、事故の多い交差点の改良、通学路への歩道設置　等)
B. 関連社会資本整備事業
(集落の孤立化を防ぐ砂防事業、災害時の避難場所としても機能する公園整備　等)
C. 効果促進事業
(コミュニティバスの購入、バス停上屋の整備、防犯灯・防犯カメラの整備　等)

〈効果促進事業の例〉


▲コミュニティバス、LRT、モノレール車両の購入

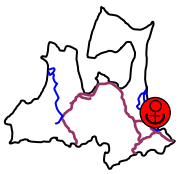

▲ドクターヘリポートの整備


▲路外駐車場、駐輪場の整備

[青森県(八戸市)](直轄)八戸港八太郎・外港地区　防波堤整備事業(S51～H24)

・防波堤整備による港内の静穏度確保により、安定的な荷役を可能にし、企業の利便性向上や避泊水域創出による航行船舶の安全確保を図ります。
・H22年度は、本体工(ケーソン据付2函)等を実施します。



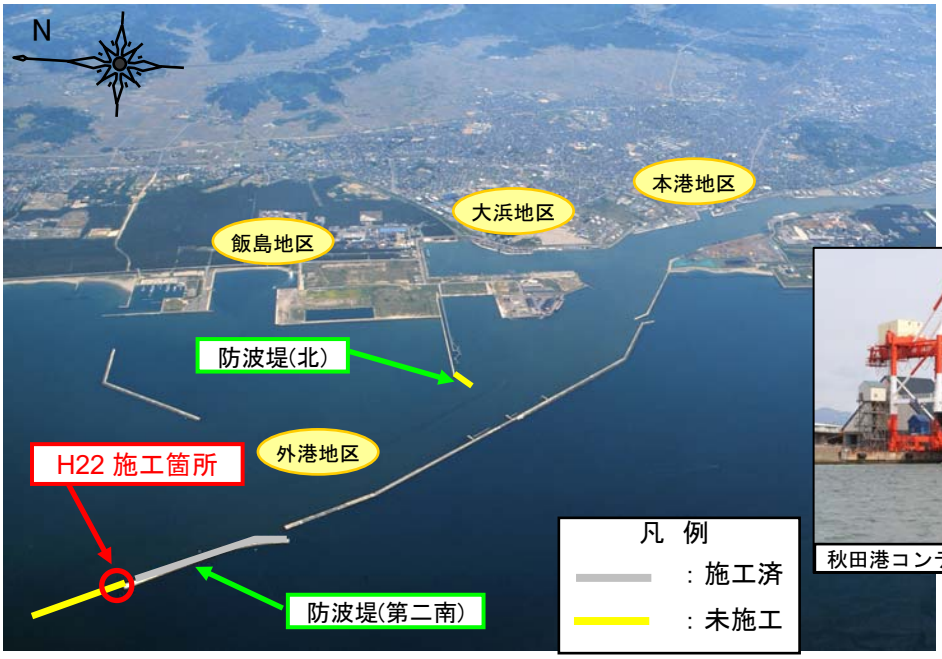


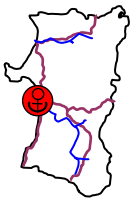


※避泊水域とは、荒天時などに港内に避難してきた船舶が停泊する場所。

[秋田県(秋田市)](直轄)秋田港外港地区　防波堤整備事業(H3～H31)

・防波堤整備による港内の静穏度確保によって、安全な船舶の入出港と安定的な荷役を確保します。
・H22年度は、本体工(ケーソン製作・据付2函)等を実施します。







[山形県(酒田市)](直轄)酒田港本港・北港地区　防波堤整備事業(S53～H31)

・防波堤整備による港内の静穏度確保によって、安全な船舶の入出港と安定的な荷役を確保や避泊水域創出による航行船舶の安全確保を図ります。
・H22年度は、本体工(ケーソン製作・据付2函)等を実施します。







※避泊水域とは、荒天時などに港内に避難してきた船舶が停泊する場所。

[福島県(いわき市)](直轄)小名浜港東港地区　多目的国際ターミナル整備事業(H20～H25)

・多目的国際ターミナル整備により、電力需要を支える石炭等バルク貨物の増加へ対応し、効率的な貨物輸送を可能にします。
・H22年度は、臨港道路下部工等を実施します。

